

平成27年12月定例教育委員会 会議録

- 1 開催期日 平成27年12月25日(金)
開会 午後 2時00分
閉会 午後 4時05分
- 2 開催場所 役場 2階 会議室
- 3 出席者名 委員長 諸 橋 志津子
委員 不二井 悟 史
委員 宮 下 静 子
委員 原 田 光 雄
委員(教育長) 布 施 東 雄
- 局長 岡 本 伊佐夫
次 長 宮 本 浩 司
次 長 荒 木 秀 人
係 長 朝 倉 恵 子

4 議 件

- 議案第13号 障害等のため教育上特別の支援を要する者について(答申)
協議第11号 穴水町教育振興計画に人権尊重に係る施策の方針の追加について

5 議事の経過について

事務局の進行により、前会議録の承認を得た後、教育長からについての報告、についての報告、についての報告があり、会議録署名員に不二井委員及び布施教育長を指名し、承認されました。

審議に入り、議案第13号及び協議第11号について説明があり、質疑応答が行われ、了承及び決定されました。

次に、1月の定例教育委員会の開催期日を1月28日(木)午後2時と決め、閉会しました。

* 主な質疑・応答等について

12月 定例教育委員会議事録

ー 委員長挨拶 ー

本年もいよいよ年の瀬となりました。学校では冬季休業に入り、子ども達にとっては楽しい冬休みです。子ども達の交通事故や万が一大雪になった場合の安全等について、周りの大人たちが見守っていかねばなりません。

事務局におかれましても、2学期は研究発表をはじめ行政の様々な事業を執行されましたこと、大変ありがとうございました。

さて、昨日の「うめめ日記」に、このような文面が載っておりました。

『志賀町の富来小学校に行ったよ。
小学生は全員かわいいです。
小学生は全員いっきにしゃべりだします。
しかも全力でしゃべるから
10人以上の子が目のおつたら
パワーすごすぎて
聞く側は気絶しそうになります。
そんで誰も何言っとるか全然わかりません。
先生は毎日この一気にしゃべるのを
聞いとるんかな。
すごすぎます。』

ただ読みますと、またうめめ語録かなと思いますが、私はこのように見ました。「子ども達は一気にしゃべりだします。全力でしゃべります。パワーがすごいです。」毎日この一気にしゃべるのを聞いている先生はすごすぎるといふ表現をされており、私はうめめさんが学校にとって有り難い見方をしてくれていると感じましたし、反面このパワーを学校側はどう捉え、子ども達の生きる力に変えていっているのか、それをうめめさんの言いたかったところではないかと思えます。

大学入試改革でも、中学1年生から授業改革をしなければ大学の入試についていられないという論評が発表されました。

小学校でもB問題を大学教育に繋がる部分と捉え、どうしたら底上げができるかのノウハウをつかむことが、先生方の2学期の大きな課題であったのではないかと思います。

また先程の会議で、お正月のお参りをする時の柏手は、「二拝二拍手一拝」といいますが、「二拝四拍手一拝」という場合もあります。それはどこかというところ、出雲大社、弥彦神社等がそうですが、全て、お寺に行けば同じお参りの仕方、お宮に行けば同じ参拝の仕方ではない、全て同じ作法ではないということです。それぞれの道を歩む時、その道を極めていかなければならないということです。そのためにも、私たちは様々なめがねを持っていなければならぬと思います。

－ 教育長報告 －

師走になりました。

先日の12月15日に、穴水町就学指導委員会がありました。後ほど議案でお話が出ますが、毎年大変多い人数です。このことについては県教委でも数年前から言われているのですが、早い間に支援し対応していると、高学年になると発達障害はクリアする部分が多いです。しかし見過ごされて中学校へ進学した場合、不登校になったり等の傾向がみられます。

臨床心理士の中島先生が、多忙な中、丁寧に家庭訪問をしカウンセリングをして対応してくださっています。先生の指導を受けて専門医に繋げてくださり、親も理解して対応することでかなり解消して、学校に来ることができた事例もあります。県教委も加配対応をしてくれていますが、抜本的な解決にはなっていない状況です。

また先日、中学2年生が各小学校を訪問し、生徒たちが6年生に入学説明会を行いました。子どもから子どもに伝えるということで、大人から聞くより効果があり、3年目になりますが大変評判が良く、中学校で楽しく過ごすためには、こんなことをするといいよ等、話してきました。

コンピューターで大量の資料を準備し、後輩の前で話をし、生徒たちの感想にも、「こんな経験は今しかできないので経験できてよかったです」「来年、尊敬される先輩でたいです」と話していました。大変良い取り組みだったのではないかと思います。

また、教育事務所の指導主事が学校訪問の結果を分析し、報告がありました。

中学校は、学びの組織的実践推進事業の取り組みから、組織的な対応がチーム穴水としてできるようになり、学習規律ができてきたとのことです。来年度からは、分析をきちんとして重点的に絞ってほしいとのことです。

小学校は、全体的に書くことが少ない、という指摘を受けました。自分の考えを文章にして書いて根拠に基づいて発言をする。そこをとり組まないと定着しないし自分の物になっていないのではないかと。発言の内容が薄いということでした。取り組みを意識的に行い、読み書きの「書く」方に力を入れてほしいとのことです。

先日、4月の学力テストを見据えてA問題B問題混合の学力テストが12月に行われましたが、穴水小5年生の算数の点数が振るわなく、グループ分けをし、きめ細かな取り組みが必要であるという話を学校長にしました。すでに学校でも12月から取り組んでいるとのことです。このようなことはどの学校にもあるのですが、子どもではなく、先生の授業改善、アプローチの仕方が問題だと思っています。先日、東京学芸大学の西村先生とお話をした時に、もう少し難しい問題をやらせなければならない。先生の視点が中の下にあり、伸びる力があって伸びきらない子どもがいるとお話されていました。

諸橋委員長 ありがとうございます。

来期に向けた課題作りができるお話でした。

教 育 長 県教委も来年は分布して科目毎のばらつきを分析したきめ細かな評価をするということです。点数だけでなく、中身に踏み込んだ評価が必要です。

諸橋委員長 委員の皆さん、何かありませんか。

－ 議事 －

事務局長 議案第13号について説明

12月15日に穴水町就学指導委員会が行われました。別添で資料を添付してありますが、審査対象者は一覧表のとおりです。

諸橋委員長 一覧をご覧ください。

宮下委員 「配慮を要する」というのは、どのような配慮をいうのですか。

朝倉係長 入学当初や日常生活において、支援員は必要ないが、担任も少し手厚く配慮が必要であるということですか。

諸橋委員長 それぞれどの程度の力ですか。

朝倉係長 本年度は、IQは高いが行動面に問題がある（落ち着きがない）、また、境界線であるがぎりぎりどっちがよいか、という方が多かったのですが、年中児保護者に対し「就学のつどい」を行うことによって、保護者の意識も変わりつつあり、近年は就学相談の枠がいっぱいに埋まる状態になってきました。

検査の結果では、動作性と他の検査結果の差が大きい、多動までいかないが切替が15分が精一杯、という状態が多く、検査結果のところに記載されているのは、検査を行った専門員の所見です。IQは高いが偏りがある。診断は無いがやや傾向がみられる。という状況です。

(途中省略)

家族の理解や先生方の配慮によって上手に学校生活を送っている子どもたちが増えてきました。

諸橋委員長 では、日本語支援が必要な方がいますね。

朝倉係長 ポルトガル語の方が3人います。

諸橋委員長 日本語通訳は必要ですか。

朝倉係長 少し支援をしてあげると大丈夫です。

諸橋委員長 日本語教室が必要ではないですか。

教育長 日本で生まれたのですか。

朝倉係長 日本で生まれましたが、母が日本語を話さないのです。

諸橋委員長 私も経験がありますが、基礎ができないと中学校の学習が理解できないのです。その子は介護職につきましたが、やはり試験で文章題ができない。だから自動車免許証も取得できないということがあります。

朝倉係長 ご両親も日本の文化に馴染んでくださるとよいのですが。

宮下委員 私の近所にお住まいですが、あまり見たことがないです。近所の行事にも気遣いを回りはしていますが、保護者が参加しないです。

朝倉係長 おたよりも理解できないと思います。

教 育 長 英語は話せるのですか。

朝倉係長 英語は話せません。ポルトガル語です。

(途中省略)

原田委員 意味を理解できないと学習にも不都合ですね。
小さい頃から日本に居るとそうでもないのですけれどね。

諸橋委員長 母国語に日本語、中学年になると英語を学びます。言語をしっかりとっていないと大変です。
学校の対応はどうですか。

宮下委員 私も日常で関わるのですが、大人の方がなかなかのってこないのです。

原田委員 穴水小学校のクラスの子どもたちはポルトガル語を覚えなければね。

諸橋委員長 ほかに学力向上もありますので、学校は個々に沿ったしっかりとしたプログラム作りをしなければなりません。

原田委員 それぞれに応じた指導が必要ですね。

諸橋委員長 1年生では特別支援教育支援員の配置対応はどうなりますか。

事務局長 小学校は学校からの要望数でいきます。

諸橋委員長 1年生は35人で1学級ですね。
特別支援教育支援員の新たな雇用はないのですね。

事務局長 ありません。

諸橋委員長 特別支援教育支援員もマンネリをしてはいけません。
どのように支援を行っているのか。
特別支援教育支援員の日誌の開示は可能ですね。

事務局長 可能かと思います。

諸橋委員長 他にありませんか。

不二井委員 この外国人の方は一時的なのですか。
企業がどのように考えているのか。

朝倉係長 企業に採用されているので、企業に異動がない限りは穴水です。

(途中省略)

朝倉係長 穴水中学校は特別支援学級（自閉症・情緒）が1クラス新設です。

(途中省略)

諸橋委員長 では承認方をお願いいたします。

事務局長 協議第11号について説明

諸橋委員長 これについて、委員の皆さん、いかがでしょうか。

事務局長 いじめの問題等もありますので、その部分も含めて総合教育会議に修正案で出したいと思いま
す。

諸橋委員長 今年度はこの部分の追加ということですね。
では、その他です。
まず、いじめ・不登校についてです。

朝倉係長 (詳細説明)

原田委員 進学が不安ですね。 学力が伴うか。

諸橋委員長 他にご意見ありませんでしょうか。
次に平成28年度入学式についてです。

荒木次長 次に町立小中学校の平成28年度入学式の日程です。
(日程説明)

諸橋委員長 はい、わかりました。
3校とも4月5日ですね。
では次に、町長との懇談会についてです。

朝倉係長 昨年度は1月15日でした。

(途中省略)

教 育 長 その前に、由比ヶ丘の明意友江さんがお亡くなりになり、教育行政にと多額の寄付をいただきましたことを報告いたします。

(途中省略)

諸橋委員長 では日程等の調整をよろしく願いいたします。
次に1月の行事予定です。

荒木次長 (1月行事予定について説明)

諸橋委員長 付け加えがなければ、1月の定例教育委員会の日程を決めましょう。

(日程調整)

諸橋委員長 では、1月28日(木)午後2時から行います。

荒木次長 町長との懇談会は、1月14日はいかがでしょうか。

教 育 長 第2回の総合教育会議とすればいいです。

諸橋委員長 では、整理しましょう。

宮下委員 小学校の制服の件はどうになりましたか。
補助のやり方等はどうになりましたか。

事務局長 準要保護に準ずるご家庭に補助したいと考えています。

諸橋委員長 以上で、定例教育委員会を終わりたいと思います。

以 上

穴水町教育委員会会議規則（昭和 31 年教育委員会規則第 2 号）第 15 条第 2 項の規定により、署名する。

会議録署名員

教 育 委 員

教育委員（教育長）
